

KINKI-DAIGAKU SHOGAKU-RONKYU

The Journal of Business Administration

Vol. 15 No. 1

July 2016

Articles

- The Formation of Accounting Conceptual Framework in Taiwan  
..... Yoko Nakaoji 1
- The Clarification of the Introduction Process and the Value Relevance about the  
Standards of Comprehensive Income in Japan ..... Jiao Zhang 13
- Study on Independent Innovation of Neusoft Group ..... Xi Yu 27
- Study on the Current State and Strategy of Japanese Convenience Stores in China  
- Compared with Local Chinese CVS Chains - ..... Shiqin Jian 41
- Specification of Valid Characteristics of Servant Leadership for the Japanese Business  
Organizations ..... Keisuke Nakayama 55
- Analysis of the Impact of IFRS on the Practice of Depreciation by  
Japanese Listed Firms ..... Yuma Nishizeki 75

Published by  
 Graduate School of Business Administration  
 Kindai University  
 Higashi-Osaka, Osaka, Japan

近畿大学商学論究

第十五卷第一号

近畿大学大学院商学研究科

近畿大学商学論究

第15卷第1号

論文

- 台湾における会計概念フレームワークの生成 ..... 仲尾次 洋子 1
- 日本における包括利益の導入過程の解明とその有用性 ..... 張 姣 13
- 東軟グループの自主イノベーションに関する一考察 ..... 于 溪 27
- 中国における日系コンビニエンス・ストアの現状と戦略について  
一日中CVS比較を中心に ..... 蹇 世 欽 41
- 日本の企業組織に有効なサーバント・リーダーシップ特性の特定化  
..... 中山 敬 介 55
- 日本の減価償却制度に対するIFRSの影響の分析 ..... 西 関 悠 真 75



2016年7月  
 近畿大学大学院 商学研究科

執筆者紹介  
(掲載順)

仲尾次 洋子 ……商学研究科博士後期課程3年  
張 姣 ……商学研究科博士後期課程2年  
于 溪 ……商学研究科博士後期課程1年  
蹇 世欽 ……商学研究科博士前期課程修了\*  
中山 敬介 ……商学研究科博士前期課程修了\*  
西 関 悠真 ……商学研究科博士前期課程修了\*

\*の執筆者は平成28年3月末に近畿大学大学院商学研究科博士前期課程を修了した者である。

近畿大学商学論究

第15巻第1号

近畿大学大学院商学研究科

編集発行人 浦崎直浩

平成28年7月7日



## 『近畿大学商学論究』投稿規定

『近畿大学商学論究』編集委員会

制定 平成15年5月10日

改正 平成25年5月22日

平成28年3月14日

平成28年4月6日

### 1. 投稿資格

『近畿大学商学論究』への投稿資格を有する者は、次の通りとする。

- ① 近畿大学大学院商学研究科博士後期課程在籍者
- ② 近畿大学大学院商学研究科博士後期課程満期退学者
- ③ 近畿大学大学院商学研究科博士前期課程在籍者
- ④ 近畿大学大学院商学研究科博士前期課程修了者（修了後1年以内）
- ⑤ その他商学研究科指導教員会議の議を経て商学研究科長が認めた者

### 2. 投稿の条件

投稿しうる原稿は未発表のオリジナルな研究論文等で、投稿について指導教員の了承を得たものとする。

### 3. 論文の査読

投稿者から査読の希望がある場合に、投稿論文の査読を行う。査読の手続きについては、別途、内規を定める。

### 4. 執筆要領

執筆要領については、別途、内規を定める。

### 5. 論文の掲載順と修正

原稿の採択および掲載順は編集委員会において決定する。掲載に際して、原稿に修正を加える場合は、投稿者と協議するものとする。

### 6. 著作権

『近畿大学商学論究』に掲載された論文等の著作権は、原則として著作者に帰属する。

### 7. 電子化公開

近畿大学商学論究に論文等が掲載された者は、国立情報学研究所及び近畿大学学術情報リポジトリによる近畿大学商学論究の電子化公開につき承諾したものとする。

### 付 則

1. 本規程は、平成15年5月10日より施行する。
2. 本規程の改定は、編集委員会において、委員の過半数の賛成によって行い、商学研究科指導教員会議の承認を得なければならない。

論 文

- |                                      |         |
|--------------------------------------|---------|
| 中国の百貨店におけるセールス・プロモーションの展開の現状と課題      | 朱 洪 双   |
| 識別可能資産のオンバランス化に関する研究                 | 谷 口 昌 宏 |
| ECFA 締結による日台アライアンスの新展開               | 李 佳 諭   |
| 顧客と経験価値を共創するコミュニケーションデザイン            | 劉 姝 君   |
| 現在価値測定に関する研究－ FASB 財務会計概念書第7号を中心として－ | 張 姣     |

## 編集後記

本号には、博士後期課程の学生3名ならびに博士前期課程を修了した学生3名による6編の論文を掲載している。博士前期課程を修了した学生の論文は、審査に合格した修士論文について投稿されたものである。

近畿大学大学院商学研究科では、近畿大学『近畿大学商学論究』に投稿する論文の研究水準の向上を目的として平成28年度より編集委員会を設置し、投稿論文のうち査読を希望する論文に対して査読を実施する制度を開始した。なお本号（第15巻第1号）において査読に合格した論文はなかった。

平成28年度4月時点で、博士後期課程1年次が4名、同2年次が1名、同3年次が3名、合計8名が将来研究者として活躍することを夢見て研究を続けている。これら若き大学院生が査読に挑戦して研究を向上させるとともに、本誌が研究成果の公表媒体としてなお一層活用されるように願っている。

本号の発行に当たり、関係事務部局の方々からご助言並びにご高配を賜りました。また、編集作業については、商学研究科研究生の朱愷雯、商学研究科博士後期課程2年の張姣の2氏の協力を得ました。記して感謝の意を表します。

平成28年7月 編集発行人 浦崎 直浩